

(様式1-3)

南三陸町復興交付金事業計画 復興交付金事業等(南三陸町交付分)個票

平成30年12月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

No.	134	事業名	南三陸町自然環境活用センター整備事業			事業番号	C-2-1
交付団体	南三陸町		事業実施主体(直接/間接)		南三陸町(直接)		
総交付対象事業費	26,598(千円)		全体事業費		75,500(千円)		
事業概要							
<p>南三陸町自然環境活用センター(ネイチャーセンター)は、志津川湾の地域資源の発掘と理解、そして永続的な利活用を目指した調査・研究を行うとともに、南三陸町の自然資源を活用した体験学習や環境教育プログラムの開発・実践、普及活動を行っていた。</p> <p>センターでは、志津川湾における海洋生物等の調査・研究を継続的に実施することにより、新種を含む希少種の発見など、南三陸の海の生態系の解明に尽力するとともに、その成果を活かした専門教育や実習プログラム、エコカレッジ事業等に取り組み、南三陸町の魅力を発信してきた。震災前には、町内外から年間2,400名程が体験学習や調査・研究といった目的をもってセンターを訪れていた。</p> <p>本事業では、本施設を復旧し、地域と一体となった交流・教育・研究の拠点施設として整備する。計画当初は、志津川市街地への建設を予定していたが、周辺の基盤工事等の遅れによる影響が多大に及ぶことから、既存施設の改修によって整備することとした。復旧に当たっては、公民館の2階を改修し、自然環境活用センターの機能を付加することで、都市住民と農山漁村住民の交流と学習の場としてより一層の機能の充実を図る。また、南三陸町総合計画や地域の特徴である「森・里・海・ひとのつながり」を意識し、地域資源の永続的な利用や地域内循環について学ぶことのできる教育・体験活動を提供することで、農水産物のブランド化と交流人口増大による町の活性化に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施設整備 延べ床面積549.1㎡(既存施設改修 現在:戸倉公民館2階一部)</li><li>・実験室・実験準備室 96㎡、飼育室 22.9㎡、交流室 40㎡、事務室 60㎡、標本展示室 31.6㎡</li><li>・その外、機材室、トイレ、シャワー室、倉庫など</li></ul>							
年度別事業費							
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	合計	
交付対象事業費			2,500	73,000		75,500	
(南三陸町震災復興計画69頁記載)							
当面の事業概要							
<平成30年度> ・実施設計							
<平成31年度> ・施設建設工事、施工監理							
東日本大震災の被害との関係							
≪被害の状況≫ 津波により、自然環境活用センターは壊滅的な被害を受けた。 内外より高い評価を受けていた、地域密着型の地域資源調査及び交流・人材育成の機会が失われている。							
関連する災害復旧事業の概要							
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。							
関連する基幹事業							
事業番号							
事業名							
交付団体							
基幹事業との関連性							

(様式1-3)

南三陸町復興交付金事業計画 復興交付金事業等(南三陸町交付分)個票

平成30年12月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

No.	23	事業名	津波復興拠点整備事業(中央地区)	事業番号	D-15-2
交付団体	南三陸町		事業実施主体(直接/間接)	南三陸町(直接)	
総交付対象事業費	5,257,071(千円)		全体事業費	6,878,071(千円)	

事業概要

【対象地区】 志津川中央地区

まちの新たな拠点となるように志津川市街地の中心部に位置する高台部に、新たなまちの都市機能を配置するとともに、交通利便性を活用した公共公益的施設(生涯学習センター、保育所、消防署など)の整備を図る。

津波襲来時も、ベイサイドアリーナ周辺に整備する津波復興拠点(東地区)と連携を図りながら、志津川市街地全体の都市機能を維持するための施設拠点を整備する。

【整備内容】

津波復興拠点造成整備(公益的施設・住宅施設・公共施設等) A=13.9ha

【配分状況】

平成24~30年度

測量・計画・調査 : 31,999千円

実施設計 : 65,000千円

用地買収・補償費 : 384,110千円

工事費 A=13.9ha : 5,787,962千円 配分済額合計 : 6,269,071千円

平成25・26年度に埋蔵文化財調査を実施

【今回申請】

平成30-31年度分として工事費 609,000千円申請

(事業間流用による経費の変更)(平成30年10月10日)

平成30、31年度分の工事費として、D-23-11防災集団移転促進事業(志津川市街地地区)より522,000千円(国費:H26予算456,750千円)を流用。これにより、交付対象事業費は6,878,071千円(国費:5,158,533千円)に増額。

年度別事業費						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	合計(千円)
交付対象事業費				426,300	182,700	609,000

(南三陸町震災復興計画 60頁記載)

当面の事業概要

(平成24~25年度)用地買収、物件補償 1式

(平成25年度)実施設計1式

(平成25~)造成工事 A=13.9ha

東日本大震災の被害との関係

東日本大震災の被害は極めて甚大であり、これからの復興まちづくりを進めていくにあたり、被災し、壊滅的な打撃を受けた交通・利便拠点や官公署等のまちの骨格となる施設や文教施設を早期に復興する必要がある。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--